

3 スピーカー
本体に接続した機器の音声を出します。音量の調整は、接続した機器で行ってください。

4 フォーカススライドキー
スライドさせて投影画像の焦点を合わせます。

5	⌵ (電源) ボタン
押し時間	動作
長押し (1秒以上)	電源を入／切
短く押す (1秒未満)	バッテリー残量の確認 音声／画質モードの変更 (電源 ON時のみ変更可能)

6 USB-C INポート
本体を充電するときに使います。

7 USB OUTポート
本体を使って給電したい機器があるときに接続します。

8 HDMI/MHL INポート
画像を投影させたい機器を接続します。

9 AUDIO OUT端子
ヘッドホンやスピーカーを接続します。

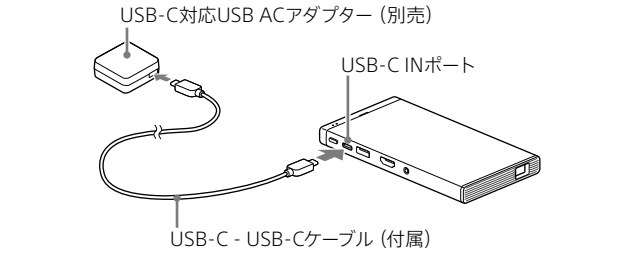
10 三脚ネジ穴

11 通気口

12 投影口

本体を充電する

1. USB-C - USB-Cケーブル (付属) をUSB-C INポートとUSB ACアダプター (別売) に接続する



2. USB ACアダプターをコンセントに接続する
充電が始まり、⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジ) が点灯します。充電が完了するとランプが消えます。(充電完了前にケーブルやアダプターを外してもランプが消えます。)

ヒント
• 本体の電源の入切に関係なく充電可能です。
• 付属のUSB-C - USB-Cケーブルを充電に使う場合、USB出力がDC5 V 0.5 A以上のUSB ACアダプターで充電可能です。ただし本製品の最大入力電流は3.0 Aです。
• お手持ちのマイクロUSBケーブルとそれに対応するUSB ACアダプター (どちらも本製品には付属していません) を使っても充電可能です。マイクロUSBケーブルは、USB-Cアダプターケーブル(付属)に接続します。この場合、本体への電源供給は1.5A以下になるため、充電しながら本体を使用してもバッテリー残量が減り、本体の電源が切れる場合があります。

バッテリー残量を確認する

1. 本体の電源が切れているときに、⌵ (電源) ボタンを短く押す(1秒未満)

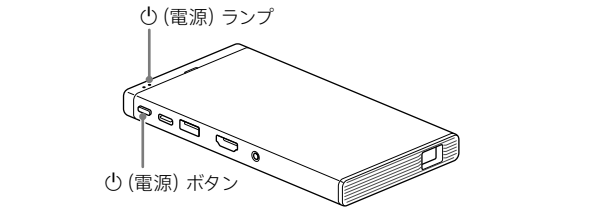
⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジ) が点滅します。点滅回数で以下の表のように充電状態がわかります。

点滅パターン	バッテリー残量
☆☆☆・☆☆☆・	70% ～ 100%
3回点滅後、再度3回点滅	
☆☆・☆☆・	30% ～ 70%
2回点滅後、再度2回点滅	
☆・・・☆・・・	0% ～ 30%
1回点滅後、再度1回点滅	

ご注意
• 本体の電源が入っているときは、「音声／画質モードを変更する」(下記) の操作で⬡□(充電・給電) ランプが同様にバッテリー残量を表示します。

本体の電源を入／切する

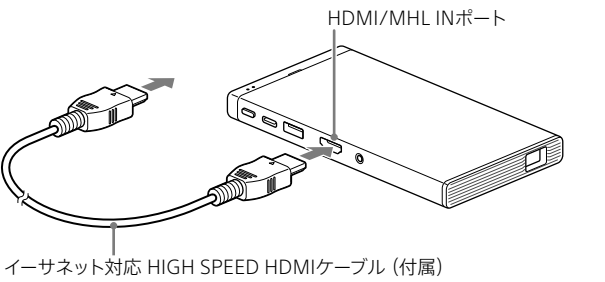
1. ⌵ (電源) ボタンを長押しする (1秒以上)
⌵ (電源) ランプ(白) が点灯します。



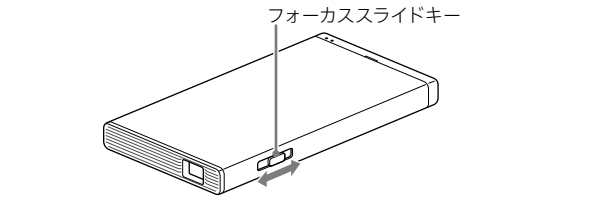
電源を切るときは、⌵ (電源) ランプ(白) が消えるまで⌵ (電源) ボタンを長押しします (1秒以上)。

パソコンやPlayStation、その他のビデオ機器を本体にHDMI接続して投影する

1. イーサネット対応 HIGH SPEED HDMIケーブル (付属) で機器と本体のHDMI/MHL INポートを接続する



2. フォーカススライドキーをスライドさせて、投影された画像の焦点を合わせる



3. 接続した機器を操作する

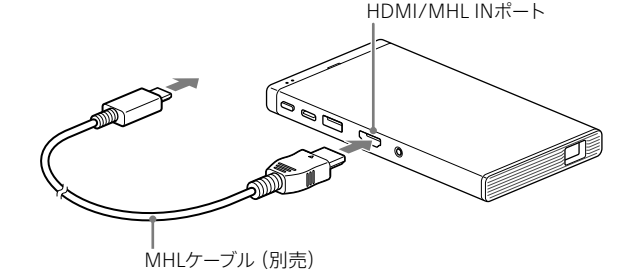
ヒント
• 本体には自動台形補正機能が備わっており、縦方向の画面の歪みが自動的に補正されます (土約40度まで補正可能)。本体を上下逆さまにしても補正されます。ただし天井に向けて投影しているときは、この機能は働きます。

• 投影中も本体の充電が可能です。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。

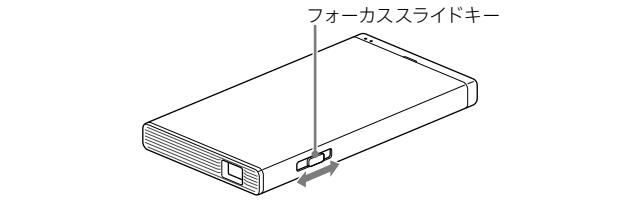
スマートフォンやタブレットを本体にMHL接続して投影する

1. MHLケーブル (別売) でスマートフォンやタブレットと本体のHDMI/MHL INポートを接続する

スマートフォンやタブレットにはMHLケーブルを通して本体から電源供給され、⬡□(充電・給電) ランプ(緑) が点灯します。



2. フォーカススライドキーをスライドさせて、投影された画像の焦点を合わせる



3. 接続した機器を操作する

ヒント
• 本体には自動台形補正機能が備わっており、縦方向の画面の歪みが自動的に補正されます (土約40度まで補正可能)。本体を上下逆さまにしても補正されます。ただし天井に向けて投影しているときは、この機能は働きます。

• 投影中も本体の充電が可能です。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。
• アップル製の機器を接続するときは、アップル Digital AVアダプタ (市販) を使用してください。
• MHLケーブルは付属していません。

ご注意
• 本体のバッテリー残量が少ないと、⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジ) が点滅します。そのまま使い続けると、本体の電源が自動的に切れます。
• 本体のバッテリー残量が10%以下になると、⬡□(バッテリー残量少) が投影画面に表示されます。
• 本体の温度が高くなると、⌵ (電源) ランプ(白) が点滅し、投影画面の明るさが半分になります。さらに温度が高くなると本体の電源が自動的に切れます。
• 充電または給電中にバッテリー温度が高くなった場合も、⌵ (電源) ランプ(オレンジまたは緑) が点滅し、充電や給電を停止します。

音声／画質モードを変更する

音声を消したり (消音)、画質をダイナミックピクチャーモードにしたりできます。ダイナミックピクチャーモードでは画像の明るさが増えます。

1. 本体の電源が入っているときに、⌵ (電源) ボタンを短く押す(1秒未満)

⌵ (電源) ボタンを短く押すたびに音声／画質のモードが切り換わります。

• 接続した機器の画像を投影していないとき (またはHDMI/MHL INポートに接続していないとき)

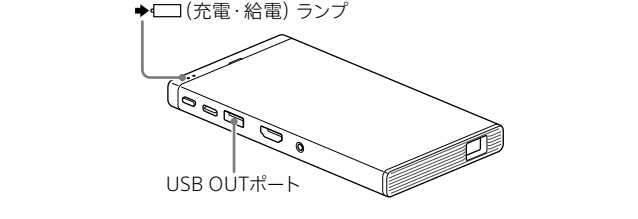
投影マーク	動作
※	標準画質、消音
※ ◀▶	ダイナミックピクチャー、消音解除
※ ※	ダイナミックピクチャー、消音
▶▶	標準画質、消音解除

• 接続した機器の画像を投影しているとき
音声モードを切り換えることはできません。画質モードのみ以下のように切り換わります。
(ダイナミックピクチャー) → (標準画質)

本体から他の機器に電源を供給する

1. 電源を供給したい機器を、USBケーブル (別売) を使ってUSB OUTポートに接続する

⬡□(充電・給電) ランプ(緑) が点灯します。



ヒント
• 投影中でも、他の機器への給電は可能です。
• 他の機器への給電中も、USB-C INポートで本体を充電できます。ただし、USB ACアダプターの性能や投影しているコンテンツによっては、充電してもバッテリー残量が減る場合があります。

ご注意
• スマートフォンやタブレットをHDMI/MHL INポートにMHLケーブルで接続すると、接続したスマートフォンやタブレットに電源が供給され、USB OUTポートに接続した機器への電源供給が止まります。
• 本体のバッテリー残量が少なくなると、⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジ) が点滅します。そのまま使い続けると、本体の電源が自動的に切れます。
• USB OUTポートは他の機器への電源供給のみに使用でき、本体の充電には使えません。本体の充電には、USB-C INポートを使用してください。
• USB OUTポートは出力専用です。USB OUTポートをパソコンのUSBポートなど、電源供給可能なUSBポートに接続しないでください。接続すると故障する恐れがあります。
• HDMIポートに接続した機器がスリープ状態になると、本体は一定時間後に電源供給を自動停止する場合があります。この場合は、USBケーブルをUSB OUTポートから取りはずし、再度同ポートに接続すると、電源供給が再開します。

故障かな？と思ったら

⬡□(充電・給電) ランプが点灯しない
使用環境が動作温度範囲外である
→ 動作温度範囲内で使用する。
USB-C INポートの接触がわるい
→ USB-C INポートの汚れを取り除く。
USB OUTポート (給電用) についている
→ 充電するときはUSB-C INポートにつなぐ。

⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジ) が点滅する
バッテリー残量少い
→ 本体を充電する。

⬡□(充電・給電) ランプ(オレンジまたは緑) が速く点滅する
本体の温度が高い
→ 使用を中止し、温度が下がってから使用する。

電源が入らない
バッテリー残量が無い
→ バッテリーを充電する。
使用環境が動作温度範囲外である
→ 動作温度範囲内で使用する。
本体の異常
→ 電源を切り、再度電源を入れる。電源を入れ直しても回復しない場合は使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

使用中に電源が切れる
バッテリー残量が無い
→ 本体を充電する。
本体の温度が高い
→ 温度が下がってから使用する。

充電しながら他機をUSB OUTポート給電またはMHL接続で使用中、給電が充電を上回り続けた
→ 他機を取り外して充電する。

本体の充電時間が短い [約2.5時間 (電源供給が3.0Aの場合)、約4時間 (電源供給が1.5Aの場合) の充電時間より早く充電が完了する]

本体のバッテリー残量が多い
→ そのまま使用する。

本体の寿命または異常
→ 完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、新しい製品をお買い求めください (寿命は使いかたにより異なります)。
→ 異常の場合にはソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

使用環境が動作温度範囲外である
→ 動作温度範囲内で使用する。

本体の充電時間が長い
他機に給電しながら本体を充電している
→ 給電を停止するか、そのま使用する。

画像が投影されない
ケーブル、コネクタ、アダプターが正しく接続されていない
→ ケーブル、コネクタ、アダプターを本体から取りはずし、再度接続する。
接続した機器や接続方法が画像形式に対応していない
→ お使いの機器の仕様を確認する、またはお使いの機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

音声が出ない
音声モードが消音になっている
→ 画像を投影していないときに、音声モードを▶▶(消音解除) に切り換える。
接続した機器の音が小さいか、消音になっている
→ 接続した機器の音量を調整する。
ケーブル、コネクタ、アダプターが正しく接続されていない
→ ケーブル、コネクタ、アダプターを本体から取りはずし、再度接続する。
接続した機器や接続方法が音声形式に対応していない
→ 接続した機器の仕様を確認する、または接続した機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

投影された画面が台形に歪む
縦方向の歪みが大きすぎるか、横方向に歪んでいる
→ 歪みが無くなるように本体を動かす。

投影された画像がはつきりしない
焦点が合っていない
→ フォーカススライドキーをスライドさせて焦点を調整する。
焦点が合わない画面サイズになっている
→ 画面サイズが20型～120型になる位置に本体を設置してから、焦点を調整する。

給電できない、他機の容量が減る、または給電表示ランプが点灯しない
充電用USBケーブルのつなぎかたが正しくない
→ 充電用USBケーブルを正しくつなぐ。
使用環境が動作温度範囲外である
→ 動作温度範囲内で使用する。
本体のバッテリー残量が無い
→ 本体を充電する。
給電先の機器が充電できる状態になっていない
→ 給電先の機器が充電の表示になっているか確認する。
→ 給電先の機器の電源を入れてから充電を開始する。
接続先の機器が専用充電器、または専用ケーブルのみで充電する仕様となっている
→ 専用充電器または専用ケーブルで充電する。

給電する時間が短い
接続した機器のポートおよびUSB OUTポートが汚れている
→ 接続した機器のポートおよびUSB OUTポートの汚れを取り除く。
使用環境が動作温度範囲外である
→ 動作温度範囲内で使用する。

本体の寿命または異常
→ 完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、新しい製品をお買い求めください (寿命は使いかたにより異なります)。
→ 異常の場合にはソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

本体のバッテリー残量が少ない、または無い
→ 本体を充電する。

⬡□(充電・給電) ランプ(赤) が点滅する、または⌵ (電源) ランプ(白) と⬡□(充電・給電) ランプ(赤) が同時に点滅する

他機との接続方法が正しくない、または接続した機器やケーブルの仕様が適合していないか故障している

→ 他機、ケーブルを正しくつなぐ、または接続した機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

出力値の上限を超えている
→ 接続した機器の入力仕様が本体の出力上限以内であるか確認する。

本体の異常
→ 電源を切り、再度電源を入れる。
電源を入れ直しても回復しない場合は使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

USBケーブルがつけられない
コネクタ部分の形状が異なる充電用USBケーブルを使用している
→ 正しい形状の充電用USBケーブルをつなぐ。
USBケーブルのつなぎかたが正しくない
→ USBケーブルを正しくつなぐ。
USBポートに異物が詰まっている
→ USBポートに詰まっている異物を取り除く。

他機を接続できない
お使いの機器がHDMI接続やMHL接続に対応していない
→ お使いの機器の仕様を確認する、またはお使いの機器の製造メーカーやお買い上げ店にお問い合わせください。

内部ファンから異常音が出る
本体の異常
→ 使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

本体が反応しない
本体の異常
→ ⌵ (電源) ボタンを10秒以上押し続ける。正常時にはこの操作は行わないでください。

「故障かな？と思ったら」の内容にしたがって調べていただき症状が変わらない場合は、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

主な仕様

外形寸法：約83.0 mm × 16.0 mm × 150.0 mm (幅×厚さ×高さ)
(最大突起物を除く)

質量：約280 g

動作温度：0 °C ～ 35 °C

出力解像度：854 × 480

音声出力：Φ3.5 AUDIO OUT端子

スピーカー出力：1.0 W

HDMI/MHL入力：HDMI 1.4b/MHL 1.4 (HDCP1.4)

投影画面サイズ：投影口からの距離115 cmで、40型(インチ) / 投影口からの距離345 cmで、最大の120型(インチ)

輝度：105 ANSI ルーメン

色再現性：フルカラー (16,770,000色)

縦横比：16:9

コントラスト比：400:1

連続投影可能時間：約120分 (電源供給無し、フル充電時)

光源寿命：約50,000時間

入力：DC 5 V 3.0 A

内蔵電池：3.8 V (typ. 5,000 mAh/ min. 4,800 mAh)

充電時間：約2.5時間 (3.0 A ACアダプター)
約4時間 (1.5 A ACアダプター)

出力：DC 5 V 1.5 A (1ポート)

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

使用上のご注意

• ご使用前に本体をケースから取り出してください。その際には本体を落とさないようにしっかり持ってください。
• 本体の使用中に、テレビやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。そのようなときは、これらの製品からできるだけ離れた場所でご使用ください。
• バッテリーは本体に内蔵されており、取り外せません。
• 投影口のレンズが汚れている場合は、めがね拭きなどの柔らかい布で拭いてください。
• 本体をクレジットカードやその他のカードの近くに置かないでください。近くに置くくと記録されているデータが消える場合があります。
• 投影するときは、接続する機器の操作も必要です。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
• 携帯機器を本体に接続する前に、携帯機器にバッテリーバックを取り付けてください。バッテリーを取り付けていない携帯機器を接続すると、データが消失したり、携帯機器が故障する可能性があります。
• 本製品との使用、不使用に関わらず、携帯機器のメモリーに保存したデータが突然無くなる事例が報告されています (詳しくは携帯機器の取扱説明書をご覧ください)。本製品との使用を開始する前に、必ず携帯機器のメモリーに保存したデータのバックアップをとっておいてください。データが消失した場合、ソニーはその責任を一切負いません。
• ソニーは本製品の使用から生じた以下の事項に対して一切責任を負いません。
- 本製品との使用によるコンピューターや携帯電話、その他の機器の問題
- 本製品と特定の機器やソフトウェア、周辺機器との互換性の問題
- インストールされているソフトウェアとの操作障害
- データの消失、損害、損失、金銭的損害、第三者からの苦情
- 第三者からの苦情
- その他事故による損害、不可避の損害
• 不具合が生じた場合はすぐに使用を中止し、ソニーの「修理相談窓口」またはお買い上げ店までお問い合わせください。

商標について

• HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
• MHL、Mobile High-Definition Link およびMHLロゴは、MHL Licensing, LLC の商標もしくは登録商標です。
• DLP®およびDLPロゴは、Texas Instrumentsの登録商標です。
• DLP IntelliBright™ はTexas Instrumentsの商標です。
• USB Type-C™ およびUSB-C™ はUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。
• "PlayStation"は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。
• その他、本取扱説明書で使用されているシステム名や製品名は通常、それぞれの開発者や製造各社の商標または登録商標です。ただし本紙のすべてのシステム名や製品名に商標記号や登録商標記号 (™、®) が記載されているわけではありません。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
MHL
MSP Driver Library
License: BSD

Copyright © 2013, Texas Instruments
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.